

健康長寿に係る先進的な取組事例(概要版)

行田市熱中症おたすけ隊2018事業

事業概要

近年の暑熱環境における熱中症が大きな問題となっていることを受け、平成25年度より「熱中症おたすけ隊」を結成し、市民へ熱中症予防に関する知識を啓発するための出前講座を実施している。市民協働にて全市を挙げて熱中症対策を基本とした健康づくりに取り組んでいくものとし、市民自らが自身の健康管理に積極的に取り組めるよう支援する。

事業内容(参加者数・予算等)

● 参加者数・予算

参加人数：883名（事業協力者数29名、熱中症予防推進大会参加者287名、出前講座参加者数 567人）

予 算：5.4万円

● 熱中症おたすけ隊2018事業（H30.3月～10月）

熱中症おたすけ隊キックオフ事業の実施

熱中症おたすけ隊アンバサダー講座の実施

熱中症予防推進大会及び熱中症おたすけ隊委嘱式の実施

出前講座の実施

活動報告会の実施

● 見える化

アンバサダー講座において、行田市の健康状況を報告

活動報告会において、本年度の行田市熱中症救急搬送状況を報告

熱中症声かけプロジェクト「ひと涼みアワード」に応募し、「団結部門優秀賞」受賞

事業効果

- 本事業をきっかけとした健康意識の向上と健康づくり活動の継続
- 高齢者の熱中症による救急搬送割合の減少

その他

- (課題)事業の幅広い周知による参加者の拡大。